

未来を開く

長井市立長井北中学校 No44 令和7年3月13日

43年の伝統をつなぎ、新たな礎を築いた令和6年度。本日修了式を迎えました

【校長式辞から】（抜粋）

257名の北中生の皆さん、進級そして卒業おめでとう。授業日数208日、1015時間の学習や活動を行ってきた令和6年度は今日で終わります。

今年度は、様々なことが大きく変わった1年でした。1年生に見られるようにブレザー型制服が加わったこと、部活動が任意加入制となり、放課後や休日の過ごし方に違いが出てきたことなどがあげられます。そこには、一人一人の選択が伴います。皆さんはそのことにしっかりと目を向け、生徒会の重点に「尊重」を掲げ、一人一人を認め、支え、本気で応援できる関係づくりに取り組んできました。学校生活の至るところで、その成果を実感した1年でした。

夏の暑さ対策から運動会を秋に移し、運動会・全校ボランティア・合唱コンクールを1セットにし取り組んだ北中祭も大きく変わったことの1つです。やり方を変えたことで戸惑いもあったと思いますが、リーダーを中心に柔軟に対応するとともに、Unityを統一したスローガンにし、それぞれを充実感と達成感に溢れる行事に体现することができました。それらをとおして築いてきた学級のUnity、学年のUnity、北中のUnityは本物であり、皆さんの大きな財産です。

北風活動の一つである部活動やボランティアでもたくさんの成果をあげることができました。女子駅伝チームの2位入賞・県大会出場権獲得

に始まり、地区大会や新人大会それぞれでの団体4種目優勝、個人入賞多数、地区吹奏楽コンクールでの優秀など大変素晴らしい成績を収めることができました。地域貢献という点では、総合文化部の取組が評価され市観光協会から賞を受けたり、各コミセンの活動にたくさんの北中生が積極的に参加したりする姿がありました。地域の方々からも北中生よく頑張っているという評価をいただいています。非常にうれしく思いました。

さて、節目となる修了式に、皆さんはどんな気持ちで臨んでいますか。「修了」には、その学年において「学ばなければならないことを身に付け、学び終える」という意味があります。修了式は今の学年の学習や生活に区切りをつけ、進級あるいは進学等、次のステップに向かう大切な節目となる式です。なりたい自分に変わる絶好の機会です。

なりたい自分に変わるには、夢や目標を持つことが大切です。夢や目標にかかわって、江戸時代後期の偉人 吉田松陰さんの言葉を紹介します。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」

進級した1・2年生の皆さんは4月7日に、卒業した3年生の皆さんはそれぞれの新たな道で、一人一人が大いなる夢や目標を持ち、なりたい自分への一歩を踏み出すことを期待して式辞とします。



【生徒会引継式】

卒業生が同窓会に入会

3月12日(水)、同窓会の入会式が行われました。同窓会長 松木宏史 さんは所用によりご来校がかなわないため、同窓会を代表して 小野卓也 さん(本校第7回卒、草岡新町在住)にご来校願い、同窓会を代表してのご挨拶を頂戴しました。

本校はすでに、7,066名の卒業生を輩出しておりますが、今年度の卒業生86名を加え、総計7,152名になります。これから、さまざまな形で母校とのつながりが出てくるかと思いますが、長井北中学校の卒業生であることに「自信」と「誇り」を持って行動していくよう願っています。

同窓会の入会式の中で、新役員の紹介がありました。中央地区、致芳地区、西根地区について、次のように承認されました。卒業後、成人式や同級会、同窓会などで活躍していただくことがあと思います。その節はよろしくお願いします。

新役員【地区連絡員】を紹介します！

◇中央地区：横山 紙美 さん ◇致芳地区：色摩 倫 さん
◇西根地区：金田 もあ さん

【同窓会入会式次第】

- 1 開会の挨拶
- 2 同窓会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 入会者代表挨拶
(横山 紙美 さん)
- 5 新役員紹介と承認
- 6 閉会の挨拶



3年のクラスマッチの様子から



受検から解放され、思いっきり体を動かし、開放感に浸っていました。

